

基礎スペイン語 II

科目ナンバリング SPA-102
必修 1単位

江原 裕美

1. 授業の概要(ねらい)

スペイン語はスペイン並びに中南米の多くの国で通用し、近年はアメリカ合衆国の中でも多く用いられている。この言語の魅力を知り、その文化の一端に触れることは、私たちの世界観を広げてくれる。この授業では、スペイン語の複雑な文法知識もわかりやすく一つ一つ丁寧に進めつつ、折に触れて出来事や文化も紹介してみたい。スペイン語文化圏への第一歩を踏み出す一助としてほしい。

なお、後期は基礎スペイン語IIと基礎スペイン語IVがそれぞれ週1回ずつ開講されるが、内容は連続している。すなわち週2回でワンセットになっているので注意すること。遅刻欠席しないこと、授業に集中することがもっとも重要である。

2. 授業の到達目標

日常最低限の必要性を満たすことができる力を獲得することを目指す。具体的には以下のような目標を達成する。①スペイン語の文法的基礎を身につける、②スペイン語の簡単な文を間違いなく音読でき、意味を理解する、③自分と家族、日常生活などを他者に紹介でき、簡単な手紙やメールを書ける。

3. 成績評価の方法および基準

平常点(授業への参加、提出物等)で30%、試験で70%。第1回目の授業は必ず出席すること。欠席遅刻をしない。遅刻2回で欠席1回に換算する。欠席数と遅刻換算分の合計欠席数が授業時数の3分の1を超えた場合テストを受験できない。

授業の完全な受講を最優先する。授業時は教科書、辞書を持っていないと出席としない。

基礎スペイン語IIとIVは連続した科目なので両科目を通じて全体的に評価する。両科目を通じての中間テストと期末テストを1回ずつ行う。

4. 教科書・参考文献

教科書

スペイン語教材研究会 『Entre amigos 1(総合スペイン語コース 初級)』 朝日出版社

スペイン語教材研究会 『Entre amigos 2(総合スペイン語コース 中級)』 朝日出版社

参考文献

現代スペイン語辞典 白水社

クラウン西和辞典 三省堂

和西辞典 白水社

5. 準備学修の内容

授業前には例文のわからない単語を辞書で引いて調べ、音読をしてみる。授業後は学習したところを20回音読して暗記に努めること。学期の途中で新しい教科書に切り替わるので、秋期が始まる際に新教科書を購入しておくこと。

6. その他履修上の注意事項

全授業の受講が最優先である。力をつけるためには毎回の授業の予習復習と暗記を欠かさずしてほしい。評価のためのテストはII,IVを通じて2回。両科目を通じての中間テストと期末テストを1回ずつ行う。課題提出や小テストは随時実施する。

7. 授業内容

【第1回】 LMSによる授業。オリエンテーション、授業の進め方、テキスト、評価方法など。

【第2回】 不規則動詞 よく使う動詞表現 Unidad 9, 間接目的人称代名詞 比較級と最上級

【第3回】 動詞Gustar Gustar型動詞 比較表現II 余暇活動の表現

【第4回】 不定語と否定語 体の部分の名称 痛みや状態

【第5回】 点過去の規則活用と不規則活用のまとめと復習 所有詞後置形の使用方法 時を表す副詞表現

【第6回】 LMSによる授業。

直説法線過去 規則活用の復習と不規則活用 関係代名詞のque

【第7回】 中間テスト これまでの復習

【第8回】 未来形の復習 命令形

【第9回】 不定形、現在完了、進行形、未来形の復習

【第10回】 点過去 関係詞

【第11回】 新教科書 Unidad 1--Unidad 3 の復習

【第12回】 新教科書 Unidad 5 現在完了 過去分詞

【第13回】 Unidad 4-6 の復習

【第14回】 Unidad 7 直説法過去完了

【第15回】 期末テスト 復習とまとめ